

# 土砂災害から身を守るために

近年、台風や集中豪雨等により、全国各地で土砂災害による被害が発生しています。今一度、家族や地域ぐるみで、地域の危険性や避難先の確認をしましょう

## ○地域を確認

土砂災害警戒区域と、いざという時の避難先を確認しましょう  
近所のお年寄りや体の不自由な人に気を配りましょう

## ○情報の収集

防災無線や広報車の避難呼びかけに注意しましょう  
気象情報などの防災情報に注意しましょう

## ○早めの避難

危険を感じたら速やかに避難しましょう  
日頃から非常時持出品（最低3日分）の準備をしておきましょう

## 土砂災害の種類

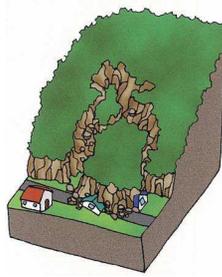
### がけ崩れ

がけ崩れは、地下にしみ込んだ水が地盤を弱め、雨や地震などによって急激に斜面が崩れ落ちることです。



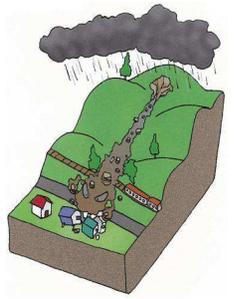
### 地すべり

地すべりは、斜面が地下水の影響などによって、滑りやすい地層を境にズルズルと斜面方向に移動する現象です。



### 土石流

土石流は、大きな岩や木を巻き込み、土砂と一緒にものすごい勢いで流れてきます。



## 土砂災害の前兆現象・・こんな前触れに要注意・・

	災害発生の2~3時間前に多く見られる現象	災害発生の1~2時間前に多くみられる現象	災害発生の直前に多くみられる現象
がけ崩れ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湧水量の増加</li> <li>○表面流の発生</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小石がバラバラ落下</li> <li>○新たな湧水</li> <li>○湧水の濁り</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○湧水の停止、噴出し</li> <li>○小石がボロボロ落下</li> <li>○地鳴り・亀裂の発生</li> </ul> 
土石流	<ul style="list-style-type: none"> <li>○流水の異常な濁り</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○溪流内で転石音</li> <li>○流木</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○土臭いにおいの発生</li> <li>○流水の急激な濁り</li> <li>○渓流水位の激減</li> <li>○地鳴り</li> </ul> 
地すべり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○井戸水の濁り</li> <li>○湧水の枯渇</li> <li>○湧水量の増加</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○池・沼の水位の急変</li> <li>○亀裂・段差の発生、拡大</li> <li>○根が切れる音</li> <li>○落石・小崩落</li> <li>○樹木の傾き</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地鳴り・山鳴り</li> <li>○地面の震動</li> </ul> 

## 土砂災害警戒区域 (イエローゾーン)

急傾斜地の崩壊等が発生した場合に、住民等の生命又は身体に危害が生じるおそれがあると認められる区域

## 土砂災害特別警戒区域 (レッドゾーン)

土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ住民等の生命又は身体に著しい危害が生ずるおそれがあると認められる区域



## 【屋久島町土砂災害危険区域】

土砂災害警戒区域等の指定について、法律に基づいて、鹿児島県で県内すべての市町村を対象に調査し、その結果を公表しています。

令和2年5月現在、屋久島町では土砂災害警戒区域が322カ所、うち特別警戒区域として298カ所が指定（詳細は町・県のホームページをご覧ください。）されています。

今後、町では町地域防災計画に基づき、住民に周知するため各種事項を記載したハザードマップを作成、配布する予定としています。

※ハザードマップとは、自然災害による被害を予測し、その被害範囲を地図化したもの

## 気象情報の種類と確認

情報名	内容
大雨注意報 (気象台発表)	大雨により災害の起こるおそれがある旨を警告して発表。
大雨警報 (気象台発表)	大雨により重大な災害の起こるおそれがある旨を警告して発表。
記録的短時間雨量情報 (気象台発表)	大雨警報発表時に、降雨がその地域にとって災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることを知らせるために発表。 ※鹿児島地方気象台では、1時間雨量が120mmを超えた際に発表
土砂災害警戒情報 (県・気象台の共同発表)	大雨警報が発表されている状況で、大雨による土砂災害のおそれが高まったときに発表。

## 避難情報の種類

区分	警戒レベル	居住者等に求められる行動
避難準備・高齢者等 避難開始 (町が発表)	警戒レベル3	【高齢者等避難】 避難に時間のかかる要配慮者とその支援者は立ち退き避難する。その他の人は立ち退き避難の準備を整えるとともに、以降の防災気象情報、水位情報等に注意を払い、自発的に避難を開始することが望ましい。
避難勧告 (町が発表)	警戒レベル4	【全員避難】 指定避難場所等への立退き避難を基本とする避難行動をとる。
避難指示 (町が発表)	警戒レベル4	【全員避難】 災害が発生するおそれが極めて高い状況等となっており、緊急的に避難する。
災害発生情報 (町が発表)	警戒レベル5	【災害発生】 既に災害が発生している状況であり、命を守るための最善の行動をとる。

## 【参考】

平成20年4月1日から県庁ホームページより土砂災害発生予測情報システムを利用できるようになりました。

このサイトでは、県内全域の降雨状況や土砂災害危険指標を5kmメッシュごとに、また県内254箇所の雨量観測所や38箇所の河川の水位の情報、さらに各市町村の土砂災害警戒情報の発表状況などが確認できます。

自分の周りで土砂災害の危険性が高まってきた時にも、これらの情報を活用することにより住民自らの判断で自主避難することが可能となります。

(URL) <http://sabomap.pref.kagoshima.jp/kagoshima/>

屋久島町総務課